

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	8人	1人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者の様子を連絡ノートや写真でお知らせする。</li><li>送迎時に介護者が在宅なら、ご利用時の様子を伝える。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>初期の関わりとして、ご利用者・家族との信頼関係を築くきっかけとなった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	8			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>初期支援では必ずミーティングをして、ご利用者の情報を職員全員が共有している。</li><li>サービス利用開始時は、ご利用者の不安をすこしでも軽減できるよう、関わりを密にしている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>介護者や家族の不安を聞いたり、受け止める機会が少ない (家族と関わりを持てる職員が限られている)。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>初期の関わりとして、「連絡ノート」を活用しサービス利用時の様子をわかりやすくお知らせする。(ご利用時の様子を具体的に分かりやすく伝え、ご家族に読んでいただけるような「連絡ノート」にする)。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17:15~19:15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5人	4人	人	9人

前回の改善計画

- ・「個別支援シート」の作成を職員全員で行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「個別支援シート」作成にとりかかったが、未完成のままである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	8		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	6		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	8		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	5		9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・一部のご利用者に限られるが、「本人がどうしたいのか」聞き取れるよう話げできた。
- ・自分の意思を表現できにくいご利用者には、表情やしぐさから、思いをくみとれるよう対応できた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・「個別支援シート」作成にとりかかったが、未完成のままである。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・「個別支援シート」の作成に職員全員で取り組み、「本人がどうしたいのか」共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

3. 日常生活の支援

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	1人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者毎の「個別支援シート」を職員全員で作成し、得た情報を全職員が共有できるようにする。</li><li>新しい情報を記録し、活用できる方法を考える。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>「個別支援シート」作成にとりかかったが、未完成のままである。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	5	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		8	1		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	5		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	1		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		8	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者の状況に合わせた支援ができるよう、ミーティングや記録で情報を共有している。</li><li>体調の変化に気づき、支援できるよう、記録を大切にしている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者の「以前の暮らし方」を把握できていない。</li><li>職員が個々に聞き取った情報を全体で共有できていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>日々の変化に気づき、職員が共有できるよう日誌・ミーティングノート・連絡ノートを活用する。</li><li>「以前の暮らし方」を把握するため「個別支援シート」を作成する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	7人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ご利用者本人に関わってくださる、地域のキーパーソンを知る。</li><li>・12月改選の新しい民生委員さんに連絡をし、顔見知りになる。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のキーパーソンや民生委員さんとの関わりは、一部のご利用者 (独居・高齢者世帯) に限られた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	6		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	4		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	7		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・サービスを利用することで、地域の方とのつながり・関わりが途絶えることがないように地域行事に参加してもらうようにしている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・ご利用者を身近で支えてくださる人や、民生委員さんが誰なのか知っているのは、一部のご利用者に限られている。(同居家族がおられる場合、地域の事はほとんど知らない)。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・ご利用者本人に関わってくださる、地域のキーパーソンを知る。</li><li>・送迎時に近所の方と顔見知りになり話を聞く。ご利用者の生活スタイルや人間関係を知る。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	4人	人	9人

前回の改善計画

- ・事業所と地域が協力してご利用者の暮らしを支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域と協力してご利用者を支える支援はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		8	1		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	8			9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		9			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7			9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者のニーズや状況に合わせて、「通い」「訪問」「泊まり」サービスを提供している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ボランティアさんや地域住民の見守りを合わせてご利用者の暮らしを支援すること。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・「地域資源」を知るために、民生委員さんと出会い、話を聞く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

6. 連携・協働

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域とかかわるように、クリーン作戦に参加する。</li><li>・秋の大蔵地区「じろはったん祭り」に参加する。</li><li>・新しい民生委員さんと出会い、顔見知りになる。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・クリーン作戦、朝来市一斉避難訓練、じろはったん祭りに参加し、地域の方に「おくらべ」を知ってもらう事ができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	4	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		3	5	1	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	3		9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		6	3		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・クリーン作戦、朝来市一斉避難訓練、じろはったん祭りに参加し、地域の方に「おくらべ」を知ってもらう事ができた。</li><li>・近隣住民の方がボランティアで来てくださったり、地区のこども園・小学校の子どもさんたちとの交流を活発に行っている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・登録者だけでなく、広く地域住民に対する支援を行う事ができなかった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き地域の行事に参加し、「おくらべ」を知ってもらう。身近に相談を受けられる施設にする。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

7. 運営

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	1人	9人

前回の改善計画	
	・大蔵地区の「じろはったん祭り」に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・地域の方に広く「おくらべ」がどんな施設かを知ってもらおうきっかけになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		7	2		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	5		9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	5		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・行事参加を通じて、地域の方に広く「おくらべ」を知ってもらう事ができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員間でご利用者以外の地域の問題を話し合う機会がなかった。 ・地域の方からの意見が聞けていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・運営推進会議の中で、地域の行事や地域の困りごとを話す機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	1人	人	9人

前回の改善計画

- ・事業所内でリスクマネジメント研修の実施する。
- ・個人の資質を上げるため、全職員が年1回以上研修に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「ひやり・ハット」を活用し再発防止に取り組めた。
- ・全職員が研修に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6			9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7			9
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	1	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・法人内で新人職員の O J T 研修 (一年間) を実施している。
- ・研修の機会を全職員に設けている。職場内研修 (感染予防研修等) は全職員が参加している。
- ・研修に参加した職員の報告で研修内容を周知している。
- ・ひやり・はつとを記録に残し、共有している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自主研修の機会があっても、積極的に参加する職員が少ない。
- ・リスクマネジメント研修が定期的開催されていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・個人の資質を上げるため、全職員が年1回以上研修に参加する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (17 : 15～19 : 15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 石田・奥村・神谷・北山・田中・谷口・中島  
波多野・福岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	3人	人	9人

前回の改善計画	
	・スピーチロック（言葉でご利用者の身体的・精神的行動を制限すること）をやめる。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・ご利用者の立場にたったケアの実践ができるよう、職員間でミーティングを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1			9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	4	5			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	1	1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	4	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束を行っていない。 ・トイレ介助・おむつ交換・入浴等、本人が恥ずかしいと感じる場面では、プライバシーを守るケアをしている。 ・個人情報は鍵付のロッカーで保管している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ご利用者の羞恥心や、職員の声の大きさ・声のかけ方に配慮が足りない場面がある。 ・成年後見制度がどんなものか知らない職員がいる。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・身体拘束・成年後見制度の勉強会を事業所内で行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 朝来市社会福祉協議会	代表者	会長 伊藤 宣廣	法人・ 事業所 の特徴	事業所の近くに大蔵認定こども園・大蔵小学校があり日常的に交流があります。また、 地元の高瀬区・宮田区のボランティアさんの訪問が定期的であり、地域との交流を深めています。 個々のご利用者が生きがいや役割を持って生活すること、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目標として支援しています。
事業所名	小規模多機能施設 おくらべ	管理者	施設長 中島 美代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	2人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	全ての職員が、事業所自己評価の内容を理解する。 ご利用者の個別の情報を職員全員で共有する。(私の気持ちシートの活用)	次年度も引き続き自己評価の内容理解の取組みが必要。 「私の気持ちシート」が未完成	職員全員で自己評価に取り組んでいることが確認できたが、具体的な取組みが行われたかどうかはわからない。	全ての職員が、事業所自己評価の内容を理解する。 ご利用者の個別の情報を職員全員で共有する。(私の気持ちシートの活用)
B. 事業所のしつらえ・環境	ご利用者の安全が確保できない場合、鍵をかけることがあるが、夜間以外鍵をかけないようにする。	環境整備に取り組み、気軽に来てもらえるような施設を目標にしている。施錠は夜間以外していない。	事業所は明るい雰囲気でありやすい。 職員は良く挨拶が出来る。	明るい開放的な環境を保ち、立ち寄りやすい施設となる。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事(じろはったん祭り、クリーン作戦)に参加する。	じろはったん祭り、クリーン作戦、朝来市一斉避難訓練に参加し、多くの地域の方におくらべを知ってもらえた。	行事に参加することで、今までおくらべを知らない人や、どんなところか知らなかった人にも事業所を知ってもらえた。	地域の行事(じろはったん祭り、クリーン作戦)への参加を継続し、おくらべを知ってもらおう。相談しやすい場所になる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	民生委員さんに出会う。連携してご利用者の地域生活を相談する。	一人暮らしの方は数名、民生委員さんと出会った。 地域のミニデイを優先して参加してもらった。	サービスを利用されると、地域での見守りが希薄になる場合があるので、地域行事を優先されているのは良いと思う。	民生委員さんや地域でのキーパーソンの方に出会い、連携してご利用者の地域生活を相談する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の困りごと、こんなことがあればいいのになど、会議で話し合う機会を設ける。	地域の心配事や、取組みを話し合うことができた。	地域の心配事や、取組みを一緒に話し合えた。	地域の困りごと、こんなことがあればいいのになど、会議で話し合い、改善につなげる。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する。施設の避難訓練に近隣の協力者に参加してもらおう。	朝来市一斉避難訓練に参加し、地域の方にご利用者を知ってもらえた。	一斉避難訓練でどんな方が理容しておられるか知ってもらえた。緊急時は協力したい。	地域の防災訓練に参加する。施設の避難訓練に近隣の協力者に参加してもらおう。

